様式第１号

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 28 年度
１次評価日（主幹等）	29 年 3 月 31 日
２次評価日（課長等）	29 年 3 月 31 日

１ 事業名	防災、災害対策事業	コード	91101

２ 担当部課	部等	総務部	課等	危機管理室	作成者	小林　隆志

３ 事業概要				
目的体系	基本目標	自然環境と暮らしが調和した、安全・安心なまち		
	政　　策	安全・安心な暮らしの確保	施　　策	危機・防災・減災対策の推進
	予算科目	防災、災害対策費	業務委託	なし（直営）
	実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	あり
	根拠法令	なし		

●事業の内容（DO）

４ 事業の概要等

＊対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

事業の概要（簡潔に）		防災・減災対策推進のため、その根幹をなす住民一人ひとりの防災・減災意識を高めるための事業や各種法令に基づく業務のほか、関係機関との連携や体制整備に関する業務
目的	対象者	市民
	意　図	防災・減災対策の推進

５ 事業の実施内容

＊28年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容

１ 災害危険箇所の現地視察：5月23日　27行程47箇所（土石流災害特別警戒区域、浸水氾濫河川等）
　県、警察、消防、市関係課職員参加
２ 防災会議：5月30日　岡谷市防災・減災基本条例、平成18年7月豪雨災害10年伝承事業内容の確認、岡谷市地域防災計画、岡谷市水防計画の修正等
３ 平成18年7月豪雨災害10年伝承事業：災害の経験から得られた教訓や知職の伝承のため各種事業を実施
(1)「岡谷市防災･減災基本条例」の制定：4月1日施行
　自助･互助･共助･公助の考え方を示した防災･減災対策の根幹
(2)小中学校災害パネル巡回展：5月23日～7月1日　全11小中学校に1週間展示
(3)「平成18年7月豪雨災害」シンポジウム：7月9日
①シンポジウム：カノラホール大ホール　参加者約1,000人
第1部　振り返る　　ＤＶＤ放映、ドローン撮影映像放映、砂防施設の整備（蒲原県砂防課長）
第2部　基調講演　　演題：明日の安全を確かなものにするために　～防災･減災のための心理学～
　講師：菊池　聡　信州大学地域防災減災センター長
第3部　パネルディスカッション
　演題：安全・安心なまちをめざして　～岡谷市の教訓を未来へ～
　コーディネーター：菊池　聡　信州大学地域防災減災センター長
　パネラー：蒲原　潤一　県砂防課長　　澤野　紳二　岡谷市民病院外科部長
　矢島　　進　岡谷市消防団長　　小口　濵明　元花岡区長
　宮坂みや子　元日赤奉仕団委員長　　中田　富雄　前岡谷市副市長
②展示・体験コーナー：カノラホール小ホール、駐車場周辺　参加者約600人
・災害関連パネル展　協力：国・県機関、諏訪広域消防本部等9団体
・防災用品展示コーナー　協力：市内3事業者
・災害体験コーナー　協力：国・県機関、諏訪広域消防本部等6団体
　土石流体験、降雨体験、地震体験、はしご車体験、煙体験、土石流実験装置、土石流模型
・災害対応車両展示コーナー　協力：国・県機関、諏訪広域消防本部等4団体
　照明車、衛星通信車、レスキュー車、震災対策活動車、排水ポンプ車、救助工作車
(4)岡谷市防災の日：7月19日の岡谷市防災の日に関連した事業
①危険渓流市民見学会：7月16日　参加者41人　湊小田井沢川、川岸境沢川、今井西調節池
②平成18年7月豪雨災害パネル展：7月12日～20日　イルフプラザ3階催事場
③防災関連図書コーナー：6月24日～7月28日　岡谷市立図書館
④市長メッセージ：7月19日　防災行政無線放送及び防災メール配信による防災･減災啓発
⑤忘れまじ豪雨災害ＤＶＤ放映：7月16日～20日　シルキーチャンネルにおいて放映
⑥職員研修：7月19日　塩竈市及び益城町への災害応援派遣職員の報告会
(5)雨量情報のホームページ公開：8月30日～
　市内11箇所の雨量計の監視システムの一般公開

4　防災啓発活動
(1)出前講座等：37回2,187人（内、25回894人はこども防災教室）
(2)防災とボランティアパーク：1月13日～19日（14日メーン）　ララオカヤ2階
①災害パネル展、ロープワーク、防災カルタ、非常食の試食、住宅耐震相談、防災関連グッズの展示販売、トン汁の炊き出し等
②防災研修会　「避難所運営ゲーム」（講師：県防災指導員）自主防災組織連絡協議会との連携
5　災害時応援協定の締結
・災害時における寝具レンタルの協力に関する協定　2月17日　ナンシンリフレッシュサービス㈲
・防災･減災に関する応援協定　3月17日　公益財団法人日本財団
・大規模土砂災害等に備えた相互協力に関する協定　3月30日　国土交通省中部地方整備局天竜川上流河川事務所
6　地域連絡員の選任　各区に2人を選任　計42人
7　ＧＩＳの防災業務への活用：岡谷市防災ガイドの閲覧整備
8　平成18年7月豪雨災害記録の販売

前年度の課題への対応	「平成18年7月豪雨災害10年伝承事業」として、岡谷市防災･減災基本条例の制定、シンポジウム、パネルディスカッションの開催等、多様な防災･減災啓発事業に多くの市民にふれていただくことができた。また、防災メールへの登録勧奨も随時行った。

6 指標の達成状況

＊活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度

区　分	26年度	27年度	28年度	29年度(予算)
① 活動指標（指標名）	出前講座開催回数			単位　回
実績値	40	42	37	
＊指標の説明	講座等を開催した回数			
② 成果指標（指標名）	出前講座参加者数			単位　人
目標値	1,000	1,200	1,500	600
実績値	1,465	1,499	2,187	
達成度	146.5%	124.9%	145.8%	
＊指標の説明	講座の参加者数			
＊目標値の設定方法の説明	回数×30人			

7 ア）コストの推移

＊この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）　［単位：円］

補助金負担金名	26年度	27年度	28年度	29年度(予算)
① 直接事業費	125,139	1,439,208	2,801,120	3,349,000
経常経費	125,139	1,293,408	1,419,168	1,318,000
臨時的経費	0	145,800	1,381,952	2,031,000
＊臨時的経費の説明	平成18年7月豪雨災害10年伝承事業に係る費用			

補助金負担金名	26年度	27年度	28年度	29年度(予算)
② 人件費	8,000,000	10,000,000	8,000,000	8,000,000
正規職員の人数（人）	1.00	1.25	1.00	1.00
③ 合計コスト（①＋②）	8,125,139	11,439,208	10,801,120	11,349,000
前年度比		140.8%	94.4%	105.1%
財源内訳　一般財源	8,125,139	11,439,208	10,801,120	11,349,000
財源内訳　特定財源				
＊特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	203,128	268,891	254,572	
前年度比		132.4%	94.7%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ）補助金負担金の状況

［単位：件、円、%］

補助金負担金名		26年度	27年度	28年度	29年度(予算)
長野県消防防災航空隊市町村負担金	件数	0	1	1	1
	金額	0	1,149,100	1,206,200	1,187,000
防災啓発共同事業負担金	件数	1	1	1	1
	金額	47,501	47,324	47,324	48,000
長野県地震対策強化地域連絡協議会負担金	件数	1	1	1	1
	金額	12,500	12,500	12,500	13,000

	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	60,001	1,208,924	1,266,024	1,248,000
	割合	47.95%	84.00%	45.20%	37.26%

＊行が足りない場合は追加してください

●事業の評価（CHECK）

8 妥当性評価

＊妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。　**妥当性**　**高い**

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

＊有効性＝成果指標（項目7／住民の満足度）は向上しているか。　**有効性**　**高い**

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。　成果指標の実績値　前年度比　145.9%	1	
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。　成果指標の目標値　達成度　145.8%	1	

●改善の内容（ACTION）

10 具体的な課題と改善

課題	（少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること） ・岡谷市緊急メールサービス「メール配信＠おかや」の登録者数 ・住民一人ひとりのさらなる防災･減災意識の高揚及び醸成（自助） ・住民同士の助け合いや支え合いの意識の醸成（互助･共助）
改善方法	（上記の課題をふまえて29年度以降に実施する、具体的な改善の内容） ・様々な機会における防災メールへの登録勧奨 ・あらゆる機会における地道かつ工夫を凝らした広報啓発活動の実施 ・人が集まるところでの広報活動の実施（パネル展・イベント等）
改善開始時期	平成29年4月

●次年度の計画（PLAN）

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による29年度の優先度 *H27年度施策評価表より転記すること	A